

職員からキャラクターのデザインを募り、応募作品の中から職員投票を行い、最終的に三好正規院長による選考を経て誕生しました。

この病院をあげての取り組みは、キャッチコピーも同様に「みんなの笑顔、明日への元気をつなげる 阿知須共立病院」というフレーズも職員からの応募、総意によって決定しています。

イメージキャラクターについては、世間のゆるキャラブームに端を発した部分はあるようですが、地域での認知度の高さと親しみやすさは別の所にあると考え、より病院を身近に、そして敷居を低くするための広報活動の一環です。

## 広報活動推進プロジェクトチーム

病院をあげてのプロジェクトは大掛かりな

ものとなりますが、それを立案、実行しているのが広報活動推進プロジェクトチームです。毎月2回のミーティングを行い、広報誌の発行、ホームページの頻回な更新、メディア対応、そして、患者満足度調査といった病院のイメージに関わる部分を一手に担っています。

広報誌作成に長年携わり、プロジェクトチームのリーダーである岡野学看護師は「一般病棟に勤務する私が、毎月2回も日勤帯に病棟を抜けることは、周囲の協力なくしては成し得ません。当院の風潮なのかもしれませんが、どの部署も広報活動に対して理解を示してくれ、快く送り出してくれますね」と語ります。キャラクター作り等、全職員を巻き込んだ取り組みが目に見える広報活動として認知され、プロジェクトチームの活躍が評価されている結果なのだと感じました。



- 1 病棟の掲示ボードの一部。レシピカードポケットが一番下に設置してあります。
- 2 レシピカードの両面。わかりやすい説明に思わず「作ってみようか…」と思わせませす。
- 3 栄養科だよりの裏面。生産者の写真とインタビューが掲載されています。